

糖尿病教育入院における NST スタッフの関わり
地域連携の促進を目指してー

紀南病院 NST 坂本恵美香 須崎 真 沢田浩一 間下哲也 山田沢美
津呂橋優 瀬古明美 宮向井ちとせ 廣畑 静 阪口智美

紀南病院では 2010 年 12 月から病診連携の一環として、紀南医師会と糖尿病教育入院に関する情報交換を行っている。患者さんが教育入院すると、NST メンバーが中心となって、それぞれの担当分野で専門的な指導をスケジュールに沿って行っている。指導スタッフは糖尿病療養指導師(検査技師・看護師)、管理栄養士、理学療法士、薬剤師である。2011 年 8 月までに教育入院した患者は 16 名あり、男性 12 名、女性 4 名であった。年齢は 37 歳から 82 歳、平均年齢 58.5 歳。紀南医師会との循環型地域連携を実施できたのは 16 名中 9 名であった。教育入院前後の HbA1c を検索できた 10 名では、指導後に検査値が好転したのが 8 名、悪化したのが 2 名で、教育入院による効果がみられた。糖尿病指導には食事や運動、使用薬剤の調節など、多面的なアプローチが必要である。このような体制作りは開業医では困難であり、また、紀南地方では糖尿病専門医は当院の非常勤医 1 名のみという理由もあり、当院の NST メンバーが中心となって糖尿病教育に取り組み、病診連携を推進して、地域の医療レベル向上に貢献することは、意義あることと考えている。